

▼勇者レベルアップで

ミス夕から祝福を

サークル：準特注くろますく

作者：へたれん

R-18 ADULT ONLY  
18歳未満 閲覧・購入禁止

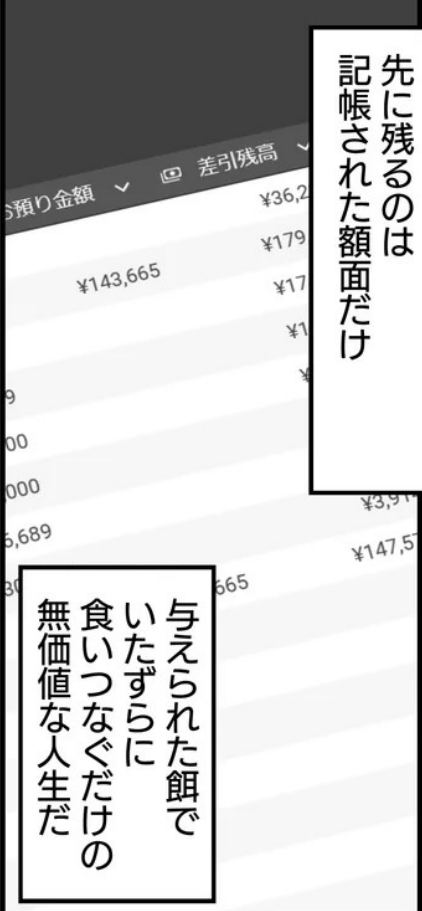


異世界  
スローライフに  
あこがれていた

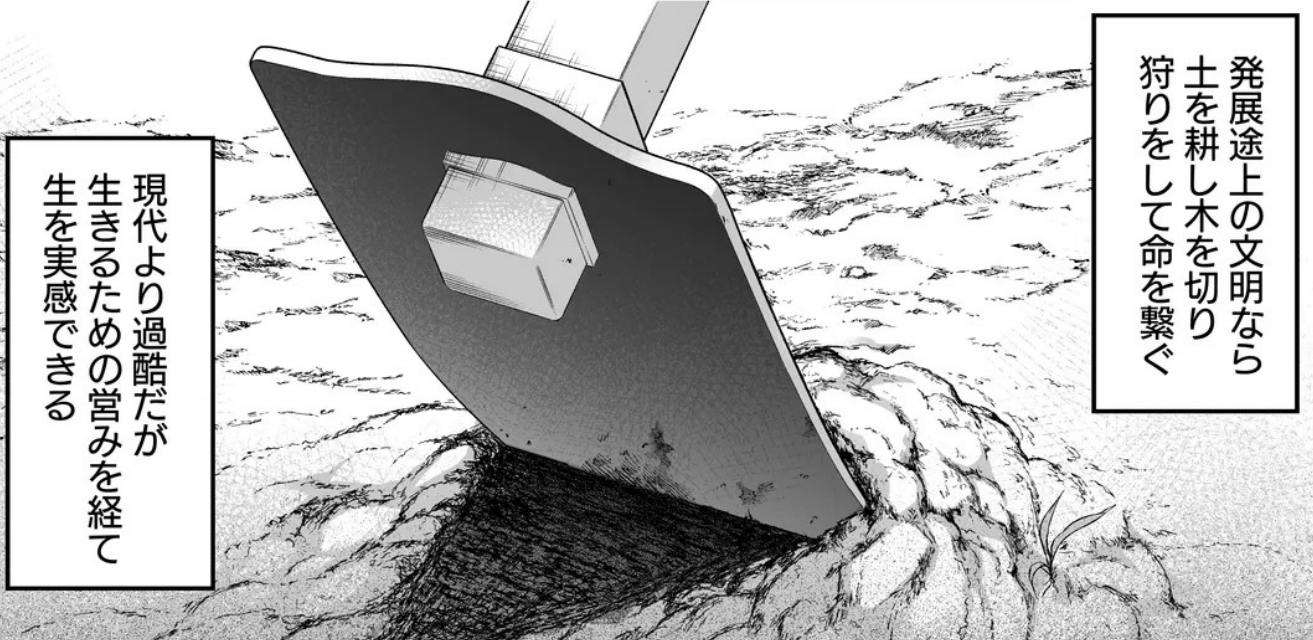


上司や顧客  
周りの人間の利益を  
守る為の生涯

その責任とプレッシャーで  
精神と人生をすり減らした  
先に残るのは  
記帳された額面だけ



与えられた餌で  
いたずらに  
食いつなぐだけの  
無価値な人生だ



発展途上の文明なら  
土を耕し木を切り  
狩りをして命を繋ぐ

現代より過酷だが  
生きるための営みを経て  
生を実感できる

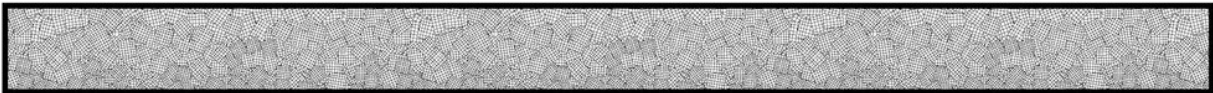


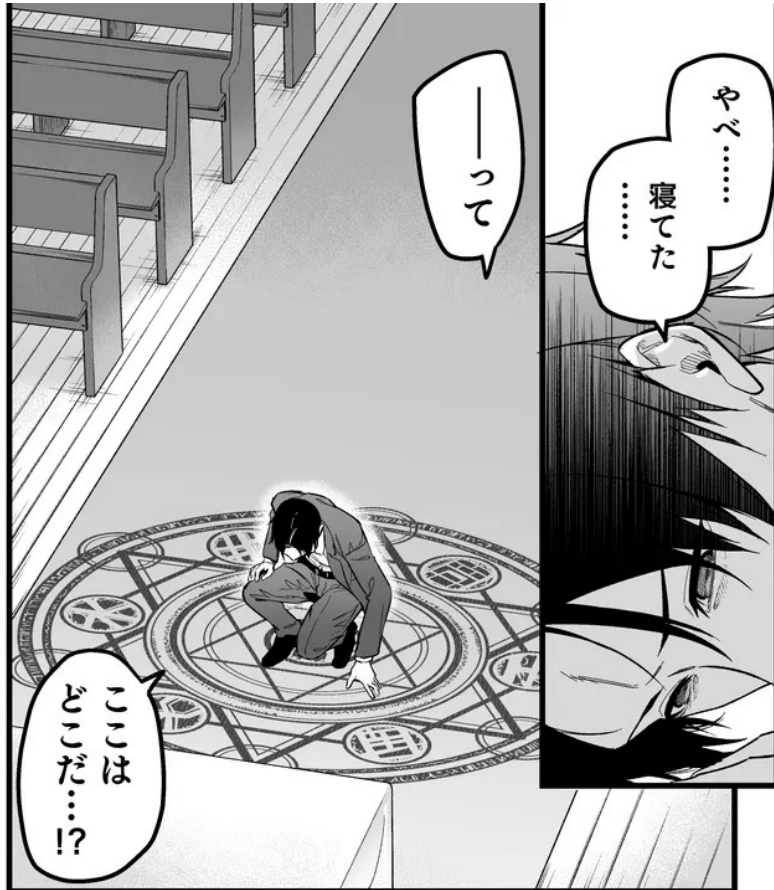
主人公じゃ  
なくていい  
チートスキルも  
必要ない

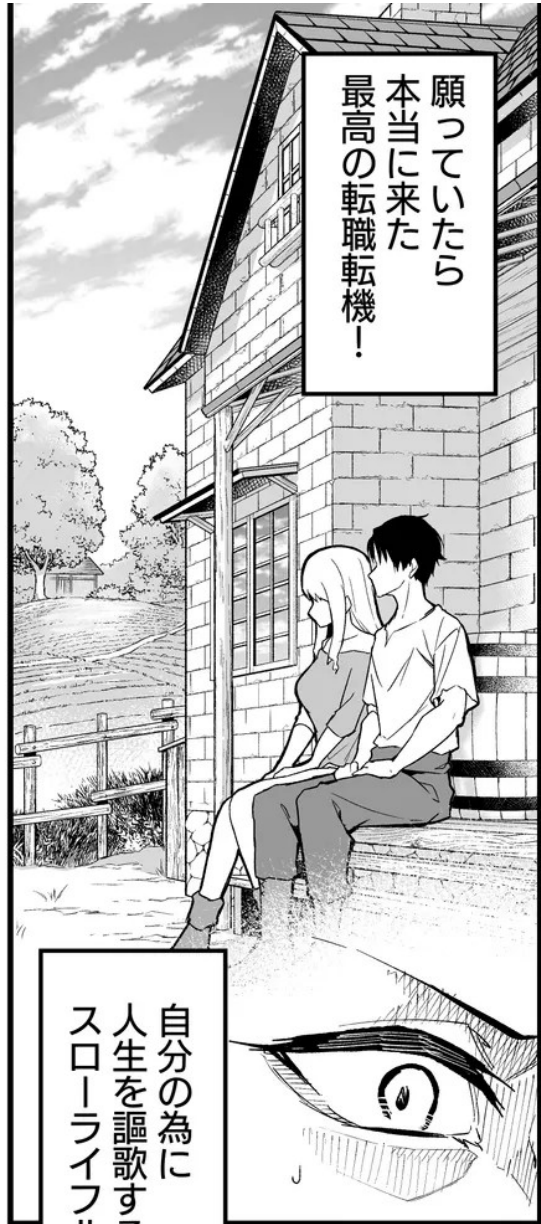
逃げる場所だけ  
与えてくれれば  
それで――



単純だからこそ  
美しい

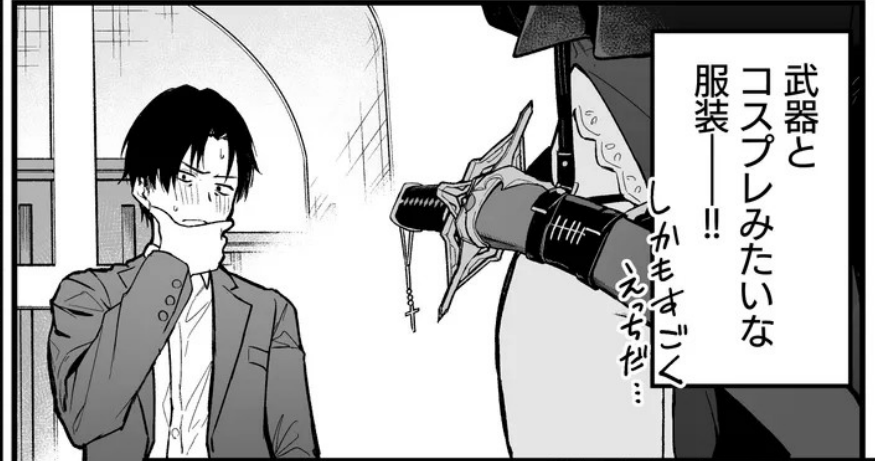






願っていたら  
本当に来た  
最高の転職転機！

自分の為に  
人生を謳歌する  
スローライフ！！



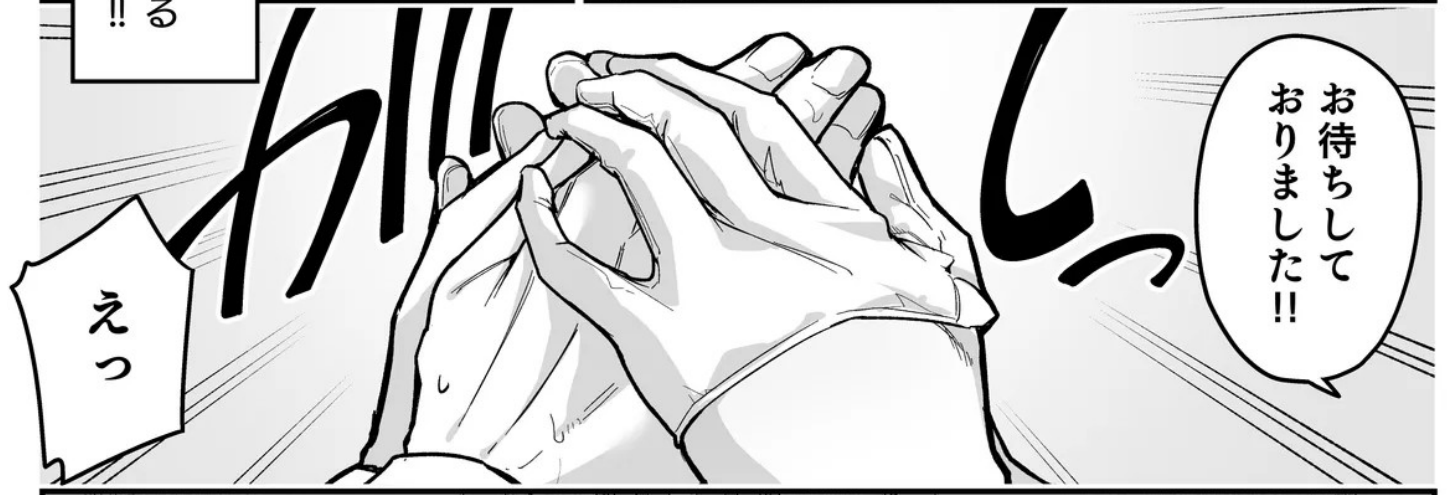
武器と  
コスプレみたいな  
服装——！！  
しかもすごい  
えびぞりだ…



！  
もしかして  
貴方は！！



もしかして  
異世界転生！！



お待ちして  
おりました！！

えっ



あなたが  
聖書に語られし  
50年に一度の奇跡！

神より  
魔王を討つ  
素質に選ばれた  
異邦の救世主——

転職活動  
失敗!!



私たちを  
お救いください!

勇者様!!

神のお導きで  
私の元で勇者様が  
誕生されるなんて♡

ま、  
待ってくれ!

神とやらはくじ引きで  
営業の足だけが取柄の男を  
勇者に選んだのか!?

高校生の頃から人を  
グーで殴ったこともない男に  
勇者が務まるハズなく  
貴社のご期待を  
裏切る形となりますので  
辞退させて頂きたく

大変申し訳ございませんが  
何卒ご容赦いただけますよう  
お願い申し上げます!!

おっしゃることが  
よくわかりませんが…

えいぢやうつ?…  
ニハフニハフセシヤウ。

カッ

今あなた様は  
勇者としては  
生を受けたばかりの  
赤子同然

勇者<sup>レベル</sup> Lv1なので  
力やご実感が  
無いのは当然です

今すぐ魔王を  
討ってほしいと  
狂言しませんので  
ご安心ください

とろっ  
「Lv.1」勇者

ステータスが  
視覚化できるのか…

というか  
勇者ジョブが  
確定してるし

シスターも  
話を聞いてくれる  
タイプじゃ  
なさそう……

職業選択の  
自由が……



民を守る  
アイユート教  
には……

民が信仰で  
安息を得るように

私達には勇者という  
神からの伝令者とも呼べる  
“象徴”が必要です



勇者様  
でしたら

えっちな  
ことでも  
……♡

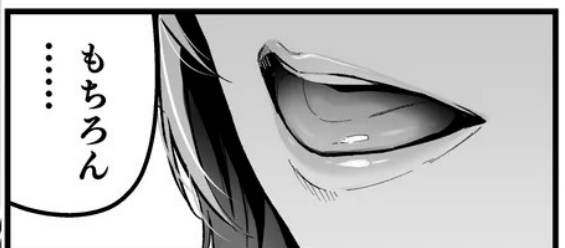
きゅん♡

!!?



その為にも  
あなた様が勇者となり  
私達を照らし導く  
光の剣となるまで

私が勇者様の隣で  
何でもサポート  
いたします！



もちろん  
……

勇者になれば  
こんな綺麗で  
おっぱいがでかい  
シスターさんと

やれるって  
こと...!?

いや  
落ち着け俺!

今までもそうやって  
上司のおだてや  
目先の報酬に釣られて  
現状から抜け出せず  
来たじゃないか——

期待してん

おから

たのませー

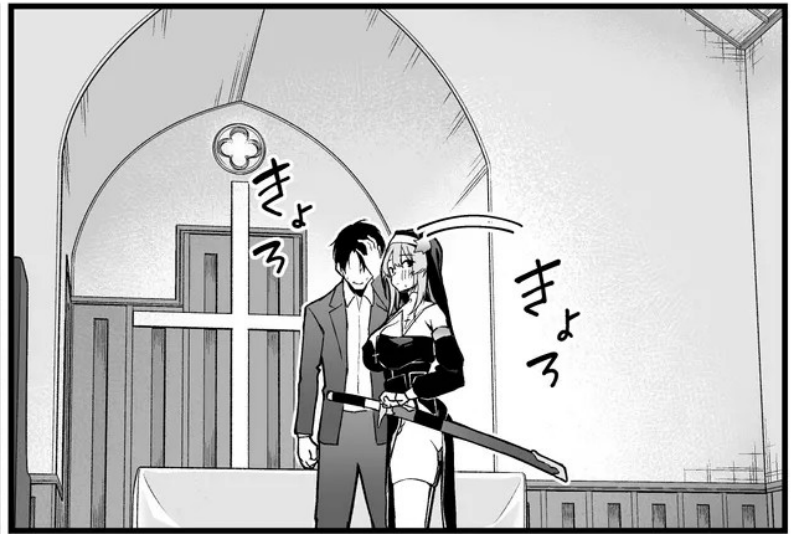
うっす!

コーヒーありがとう  
ございます!



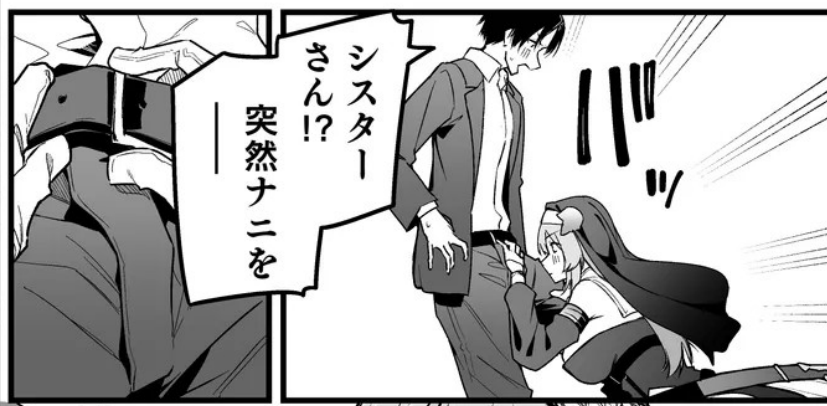
アイユート教は  
神から偉大な加護と  
恩寵を受けそれを  
人々に広める為に

聖なる祭儀として  
人の為に務めた者を  
認め、許し、祝うのです



きよろ

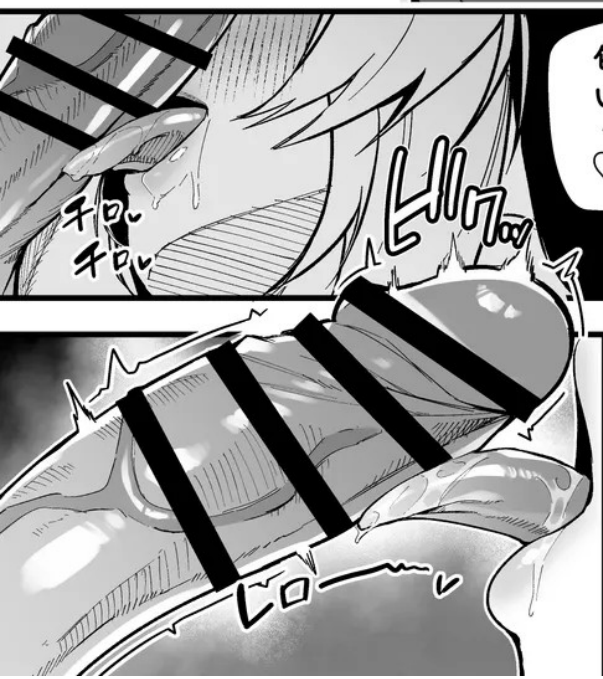
きよろ

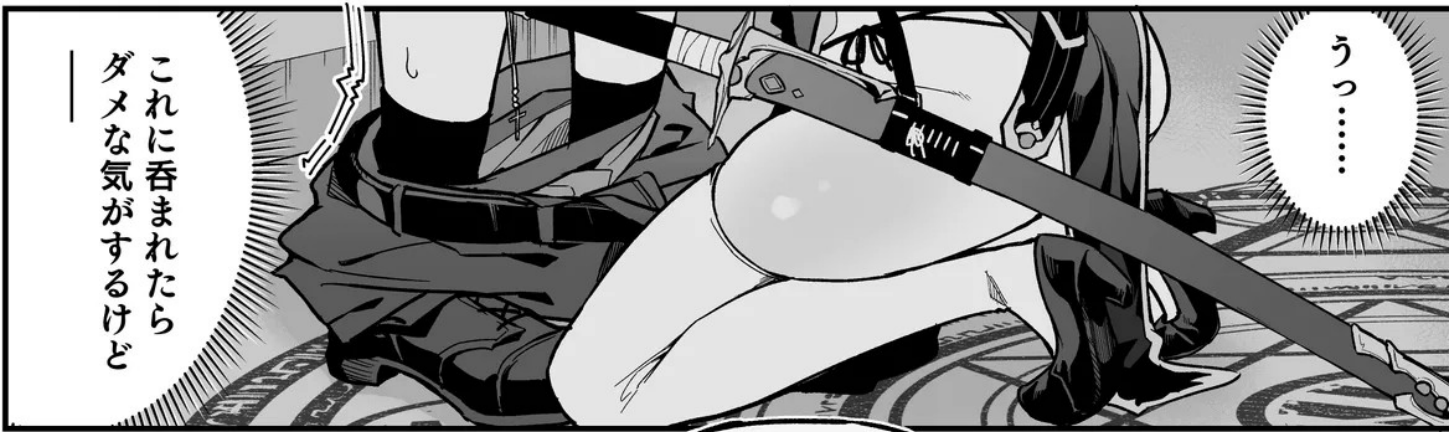


シスター  
さん!?  
突然ナニを



「祝福」です





うっ……

これに吞まれたら  
ダメな気がするけど



こんなの  
逃げられる  
わけがない!!

はー♡

はー♡

アキユ♡

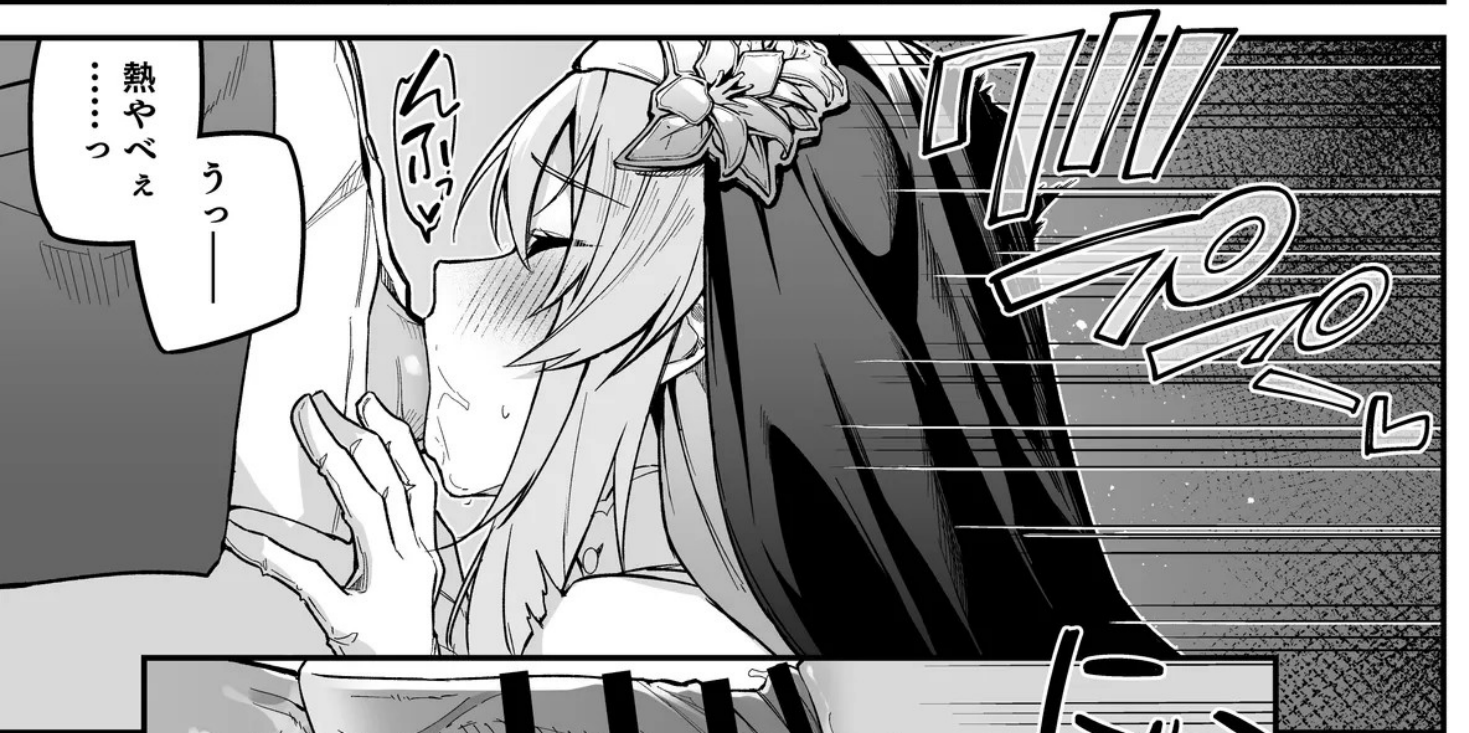
れろ♡  
れろ♡

れろ♡  
れろ♡



おちんちん♡

嬉しそうに跳ねて  
愛おしい……♡





転職失敗から一転  
突然の接待ご奉仕  
フェアってなんだよ



ストローク  
やばいっ  
シスターさんの  
舌が絡みつく  
……ッ



ただでさえ  
現実か疑うような  
状況で  
そんなおいしそうに  
しゃぶられたら



理性すら  
消し飛ぶッ





最後は勇者様の手で  
介助頂きながらの射精で  
私までオーガズムを  
得てしまうかと……♡

ホッ♡

自ら逃げ場を  
断ち切って  
しまった……  
罪悪感……

転生の祝福もできた  
ことですし  
早速勇者としての  
お務めを……と  
いたしたい所ですが  
今日はもう  
遅いので  
身体を洗って  
お休みください

隣に誰も使っていない  
宿舎がありますので  
ご自由に使ってくださいですよ

案内しますね

……  
第二の人生だ

勇者とやりに  
成る気は  
殊更ないが

あっはい  
お気遣い  
痛み入ります

最低限 宿とフェラの  
恩ぐらいは返さない  
だよな……

えっと……

あまみや きいち  
雨宮 紀一  
です



シスター  
茉莉花です

これからよろしく  
お願いします

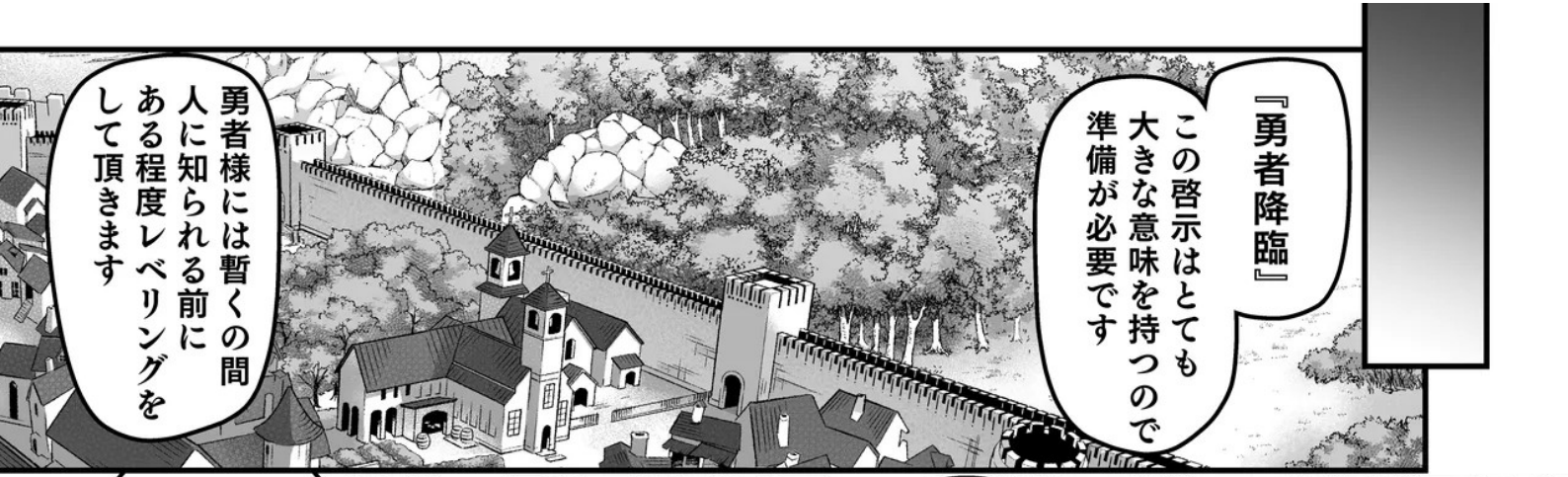
勇者  
雨宮様♡

そういえば  
名乗っていません  
でしたね

職業勇者  
無給・現物支給  
社宅有り  
シスター付きの  
奇妙な転職生活が  
始まった



こうして  
ブラック企業から  
離脱した結果



『勇者降臨』

この啓示はとても  
大きな意味を持つので  
準備が必要です

勇者様には暫くの間  
人に知られる前に  
ある程度レベリングを  
して頂きます



たしかに  
レベル  
Lv1の勇者は  
名折れしそ  
うだもんな……

戦う才能の無さを  
見てもらえれば  
早々に諦めようが  
つくかな……

なので  
まずは



こちらの  
トールアントを  
倒してください

トールアントLv.2

いきなり  
実践投入!?



あの……  
剣も握ったことすら  
ないので突然戦えと  
言われましても……

あつ  
えつと

……  
そうですね



聖騎士Lv.60



こんな感じですよ

わからないですよ!!

わからないですか!?

そもそも稽古とか研鑽を積んでから挑むべきじゃないんですか!?

でも、経験値効率悪いですし、勇者様には一刻も早く立派なレベルにならなくて欲しくて――

勇者様ならきっとできます!

それに――

レ、レベルアップの度に祝福で労ってあげますので!!

既視感がある

教育に人材と費用を割けない  
ブラック企業の悪癖そのもの

キャリアアップ魔王討伐どころか

雑魚相手に使い捨てにされかねない労働環境……!

仕事のやり方? なんもみんなの仕事見と覚えろ

お前にも教育する社員はいるやろ、会社の利益だすんだよ?

やっぱり逃げた方がいいのでは……

報酬で釣りやがって……!

カハッ



もうヤケだ  
ブラック企業  
戦士の力みせたら  
ああああああ!!



7時間後



長時間にわたる  
不屈の闘志の末の討伐

ファンファーレに  
ポーズも決められない  
この情けなさよ……



いや、  
とんでもない  
……っ

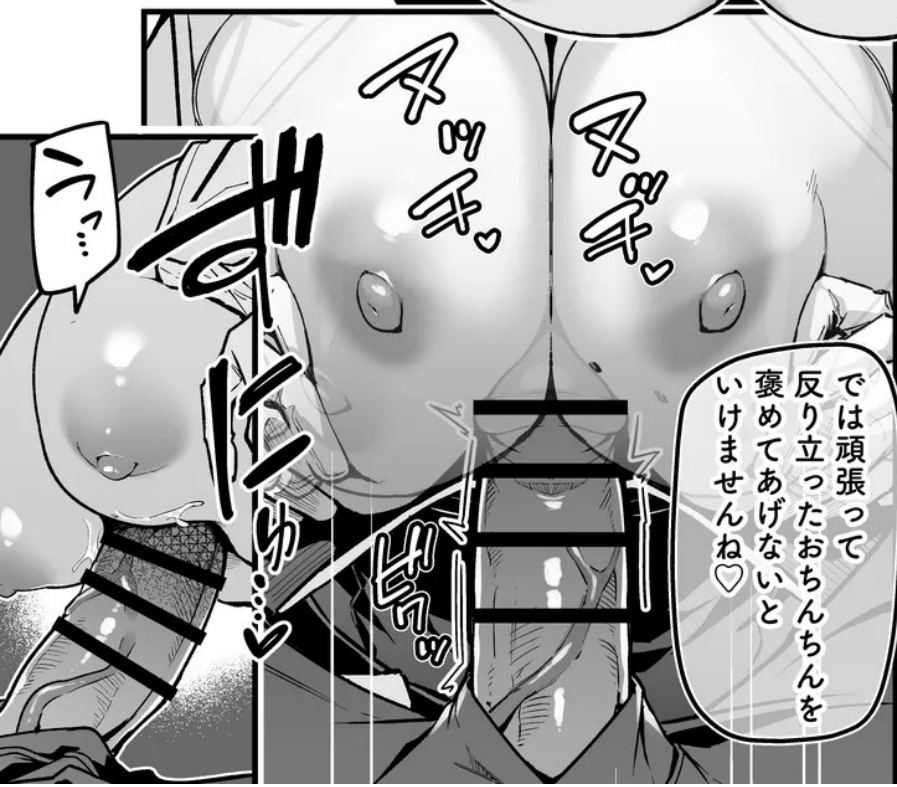


こちらでご奉仕  
致しますね……♡

ご満足頂けるか  
わかりませんが



そしてレベルアップ  
おめでとうございます  
勇者様の  
最初の成長を  
祝福して——



アッ♡  
アッ♡

では頑張って  
反り立ったおちんちんを  
褒めてあげないと  
いけませんね♡



それは  
安心しました♡

力が入らなくて  
不安だったのに  
見ただけで  
フル勃起ですよ

勇者様のお汁で滑りは良さそうですね——っ

おっぱいのご奉仕はいかがですか♡

やわらかいのに乳圧の刺激ですごい気持ちいい——ッ

勇者様のお顔が昨日より近くて

お顔とおちんちんで気持ちよさそうなの沢山伝わってきます♡

茉莉花さんの綺麗で少し恥ずかしそうな顔と吐息

密着して感じる花のような甘い香り

おっぱいにおっぱいながら色んな情報が俺を襲ってくる——ッ





今日は  
勇者様の精液で  
汚されてっ

恩寵をこの身に  
感じて幸せです♡



疲労と射精で  
このまま寝て  
しまいそう……

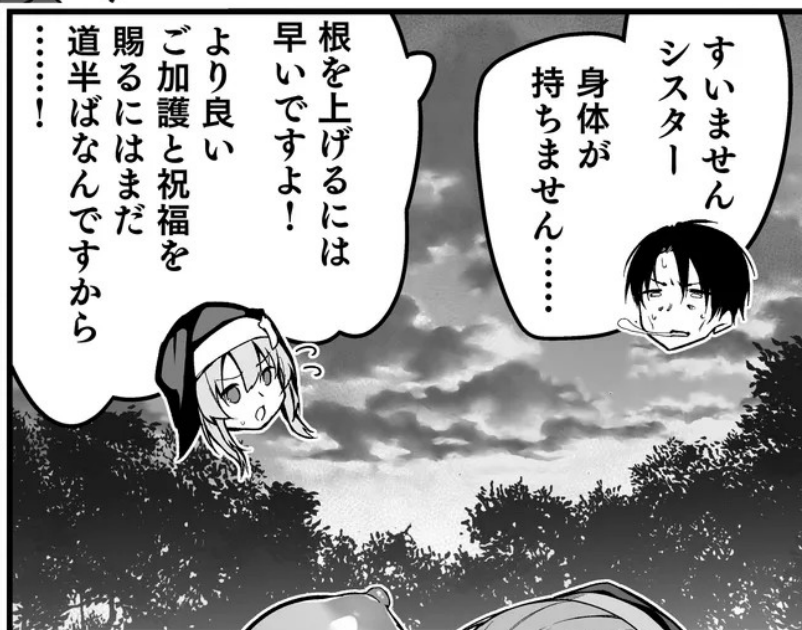


相変わらず  
すごい量と濃さ



先ずはレベル5を  
目指しましょう

勇者様の努力が  
実を結ぶ筈なので  
その時には——



すみません  
シスター  
身体が  
持ちません……

根を上げるには  
早いですよ！  
より良い  
ご加護と祝福を  
賜るにはまだ  
道半ばなんですから  
……！



此処で  
勇者様に“祝福”を  
致しますので♡

いずれはこの人と  
生ハメセックス…！

幾年ブラック企業から  
逃げられずにいた俺は  
この極上の「やりがい搾取」に  
勝てるハズがなかった

それからというもの  
日が昇る前に  
叩き起こされ

勇者の使命と  
命の危機を背負った  
身の丈に合わない  
労働が日課となった

重圧に押しつぶされ  
闇雲にあがきながら  
疲れて眠る生活は  
結局転生前と  
変わらずのまま

それでも  
居心地は悪くない

秘匿としながらも  
社会には溶け込み  
歯車の中でも  
現代より『生』を持って  
生きている

生きなければ  
死ぬ環境と  
シスターとの生活

勇者Lv.2▶3

なにより  
『祝福』という魔性が  
俺を拘束し、生かし、  
理性をバグらせていく

それは茉莉花さんも  
同じだったのかも  
しれない

こんかい  
Lv4の  
祝福はまだ  
前菜なのでっ



挿入したらダメ  
ですよ……っ♡  
おまんこの入口と  
おっぱいで沢山  
味わってください♡

これっ  
もどかしい  
っすけどー

茉莉花さんのお尻に  
腰を打ち付ける感触っ  
めっちゃ興奮  
します……ッ



おっぱいも触ると  
すごい心地よくてッ  
あんっ♡



茉莉花さん  
こんなに甘い声  
出すんだ……っ

んあっ  
んあっ



私も気持ちよく  
なってしまうます  
——っ♡

はあんっ

ゆうしゃ  
さまにっ  
感じやすい乳首  
もてあそばされてっ♡

おほい  
重たっ!!

あはっ



やべっ  
声聞いてたら  
もう込み上げ下

あはっ  
あはっ

あはっ  
あはっ

あはっ  
あはっ



勇者様の  
祝福

あはっ  
あはっ



あはっ  
あはっ

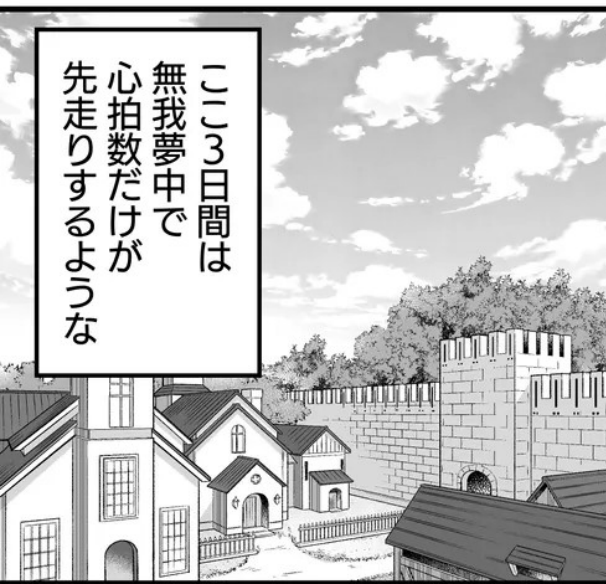


加齢とあわせて  
つまらない人生になるほど  
時間の速度は  
早く感じるものだが

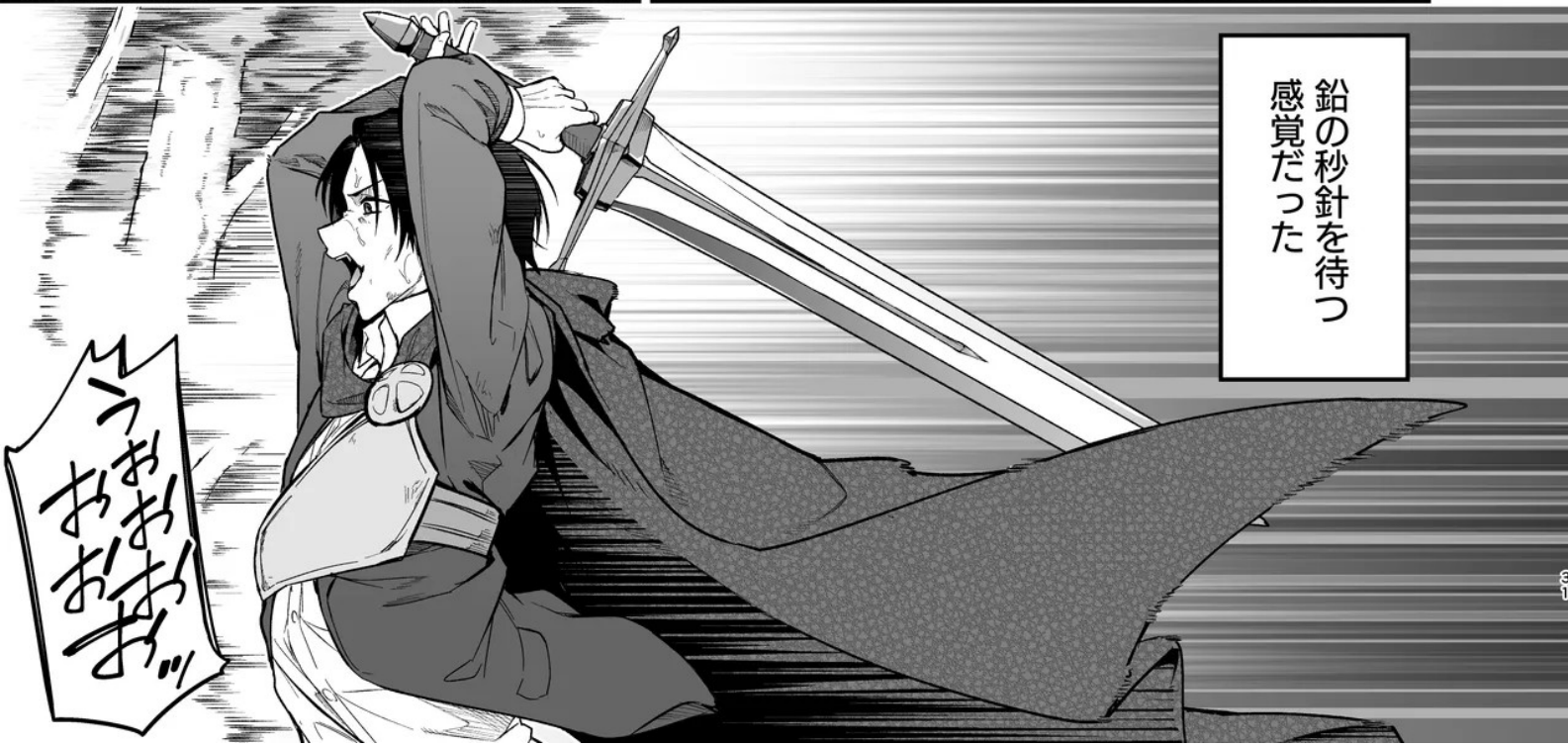


次は私の  
膣<sup>なか</sup>内で射精されるの  
ですね……♡

ドキ……ドキ……



ここ3日間は  
無我夢中で  
心拍数だけが  
先走りするような

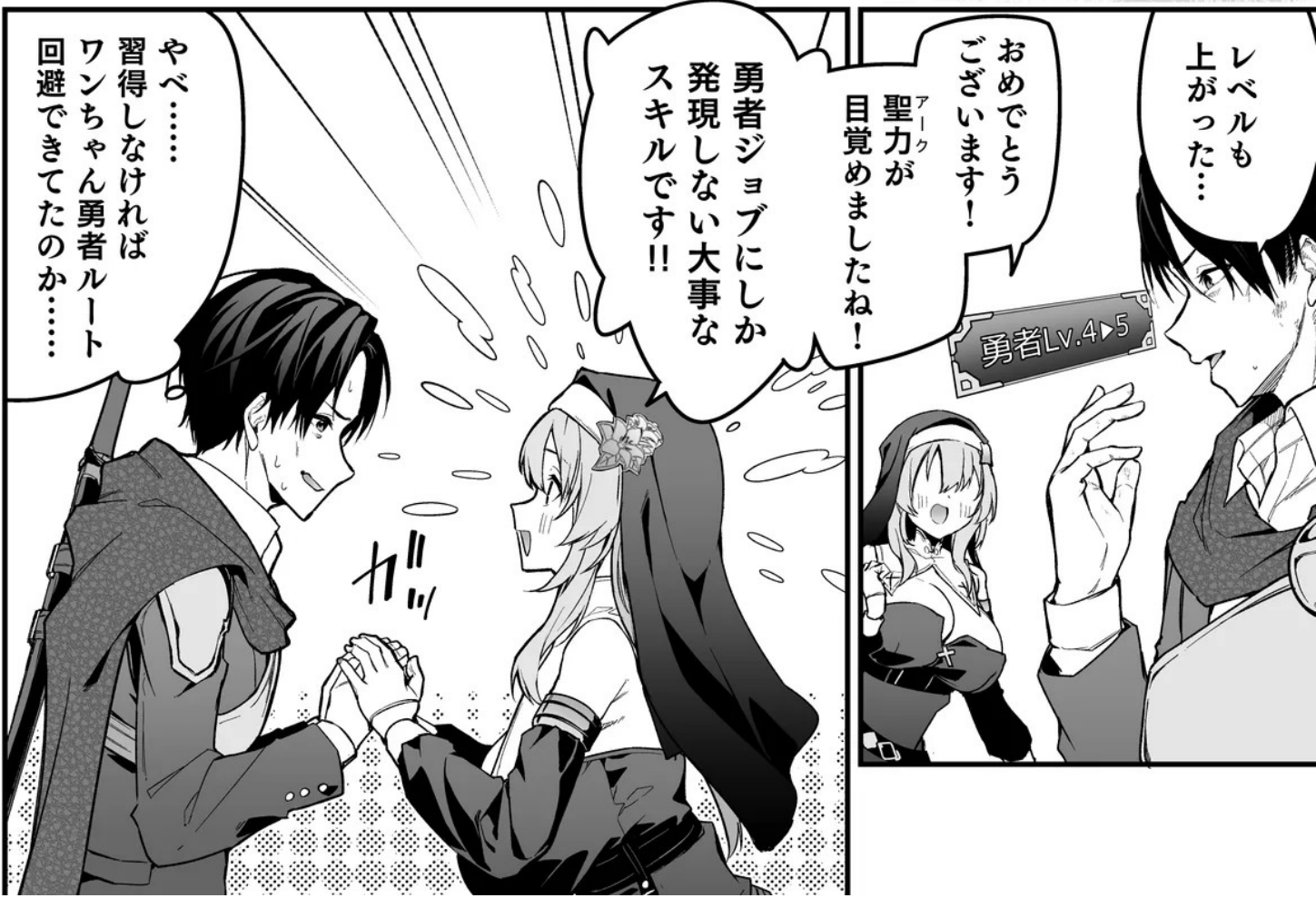


鉛の秒針を待つ  
感覚だった

おっおっおっおっ



なんか出た!?



レベルも  
上がった…

おめでとう  
ございます!

アーク  
聖力が  
目覚めましたね!

勇者ジョブにしか  
発現しない大事な  
スキルです!!

やべ……

習得しなければ  
ワンちゃん勇者ルート  
回避できてたのか……

勇者Lv.4▶5



そうだ：  
未来の事は  
一旦忘れよう



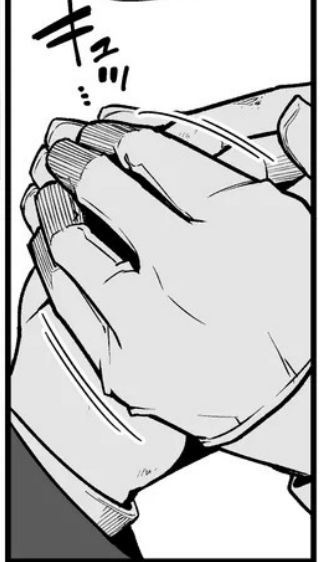
俺はこの日の為に  
生きてきたんだ



体を洗ってから  
宿舎に向かいますね

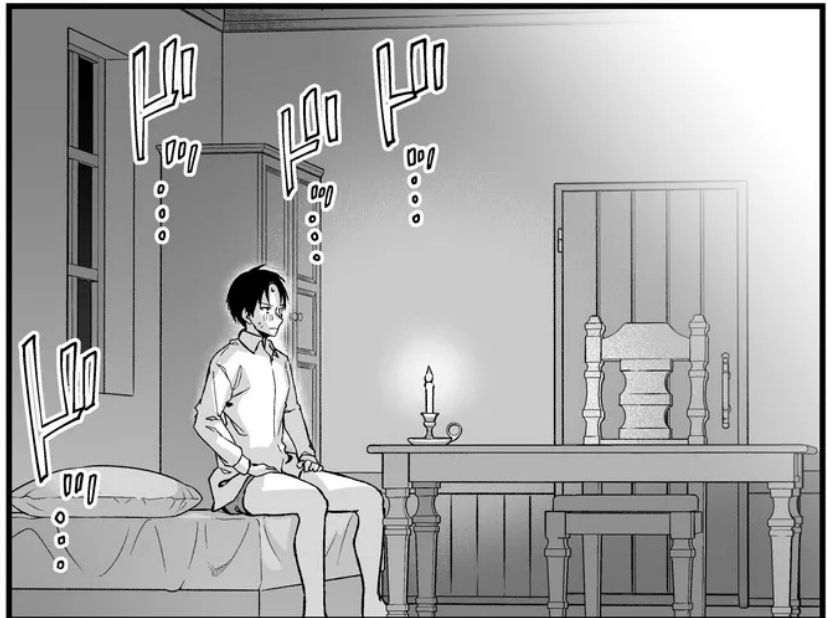


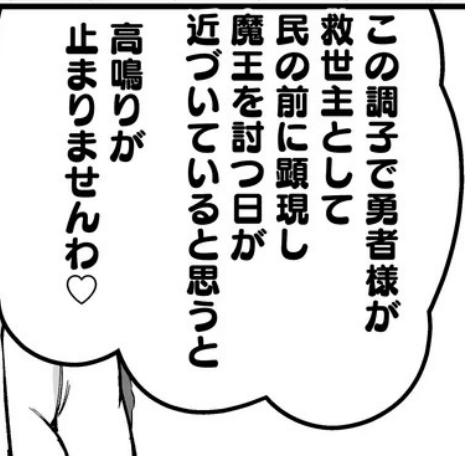
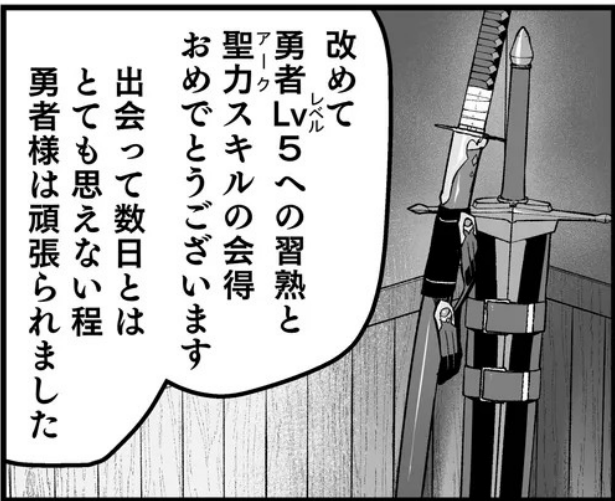
勇者様  
この祝福は晩の刻に  
致しましょう



コンコン  
シスター茉莉花  
参りました

どッ  
ドウゾオハイリ  
クダサイツ!!





—と、  
これは野暮な話  
でしたな

今は勇者様に  
私と与えられる

最高の  
“祝福”を…

ぎしぎし

下心だけでここまで  
来たことに今更  
罪悪感で抵抗心が  
出てしまったが—

茉莉花さんの  
力つよッ!?

Lv.60  
STR: 156

Lv.5  
STR: 32

勇者さま♡  
お気持ちわかりますが  
最初は私にリードを  
取らせてください♡

私もこうして  
勇者様にお仕えし

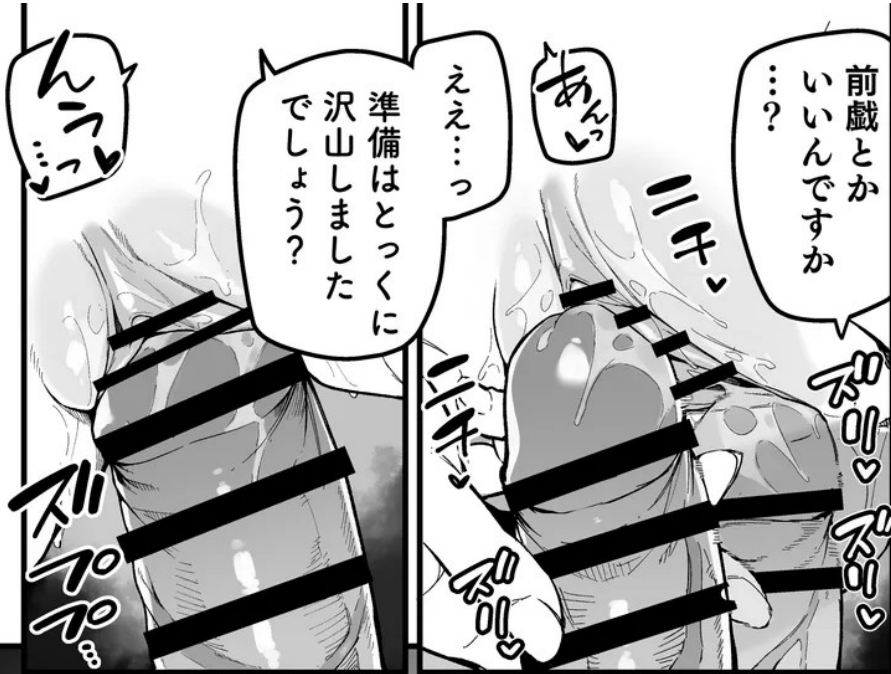
私の中で勇者様の  
祝福を共にできる日を  
待ちわびていたのですよ

ですのど

少々乱れてしまうかも  
しれませんが  
ご容赦ください…♡

しんお…

茉莉花さんの  
まんこ……っ



んっっっ

準備はとっくに  
沢山しました  
でしょう？

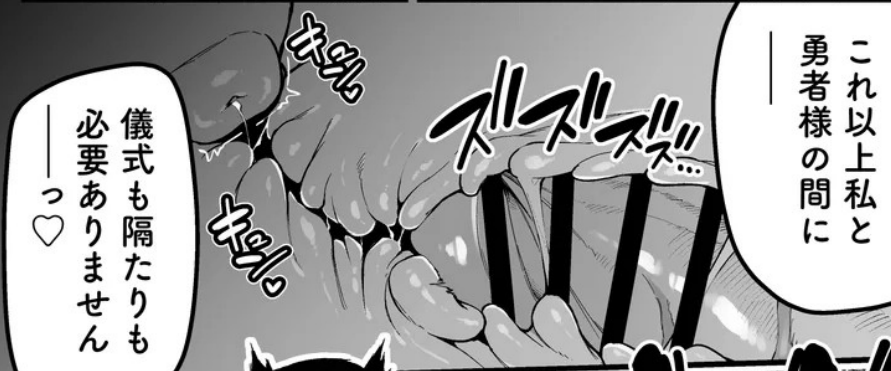
ええ…っ

あゝ

前戯とか  
いいんですか  
…？



これが私の神秘に  
種付けする性器……  
勇者様  
おちんぼっ♡



儀式も隔たりも  
必要ありません  
っ♡

これ以上私と  
勇者様の間に



あゝ

スススス

スススス

スススス

スススス

茉莉花さんの  
まんこ  
キツキツ  
ヌルヌルでっ

ピストンの度に  
固い感触が尿道口に  
吸いつくーッ

長く味わって  
いたいのになー

もうーッ

感じるもの  
目に映るもの  
聞こえるもの  
全てが射精感を  
促してきてッ

勇者  
さまっ

おっほい  
おっほい

はっ  
はっ

はっ  
はっ

はっ  
はっ

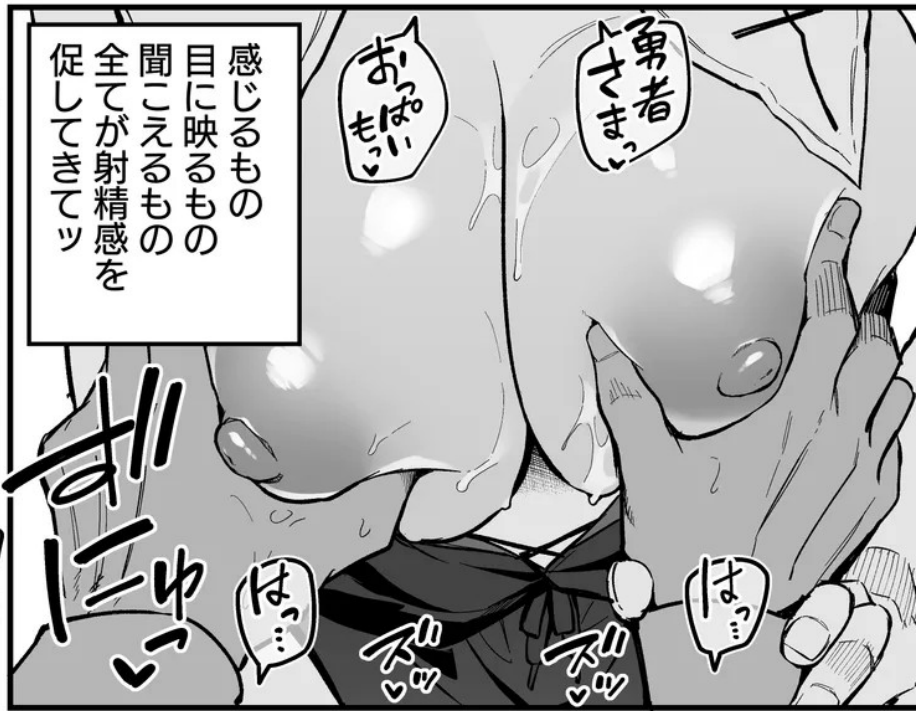
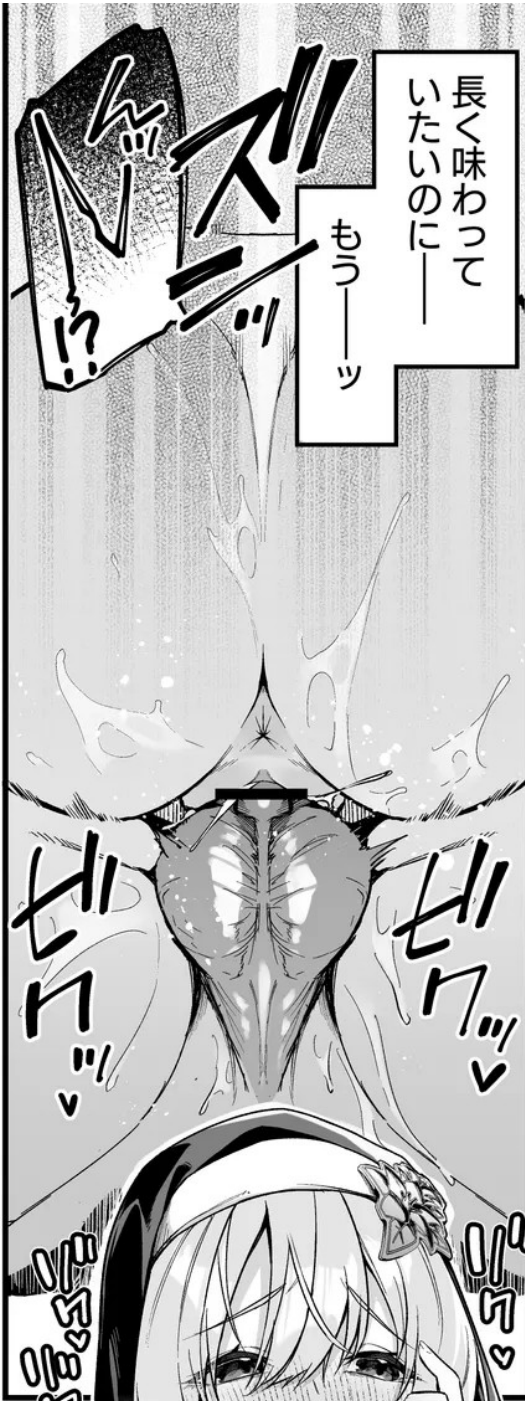
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ  
はっ

勇者さまっ!?

おちんぽさらに  
太くっ♡

はっ  
はっ  
はっ  
はっ





射精すの  
です♥

はは  
んん

勇者様を受け入れ  
恩寵を与える

は  
んん

は  
んん

る 射  
精

勇者専用の  
祝福穴に♥

たくさん♥  
勇者様の熱い  
子種♥

射精して  
ください♥

茉莉花さんッ

精射して  
精射して  
精射して

精射

精射

精射

精射

精射

精射

精射

精射

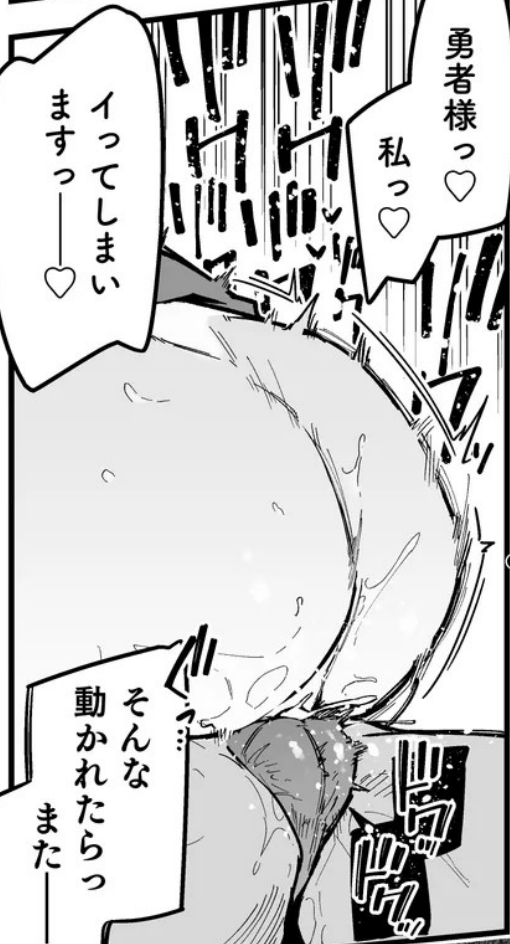
精射

精射



子宮から  
頭の先までっ

勇者様の祝福に  
押し潰されてっ♡



勇者様っ♡

私っ♡

イってしまっ  
ますっ♡

そんな  
動かれたらっ  
またっ



子宮口とキスしながら  
注ぎこまれてるっ♡



でっ

射精てるっ♡

ゆうしやさまの  
せいえきっ♡



まっまっ  
あ

チッ

ハッ  
ラッ

チッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ



射精すというより  
抜き取られてる  
気分だ……



は……  
は……

これが  
腔内射精……

茉莉花さんの  
生まんこに  
生射精——



すげー  
気持ちいい……

中出し後の  
お掃除フェラまで  
してくれるなんて  
……



勇者様から  
身に余るほどの  
祝福——♡

とても光栄です♡



茉莉花さ……っ  
それ以上されると  
また溜まって——



逃げたかったこととか  
全部忘れるぐらいに  
塗り替えられる……

報酬と呼ぶには  
あまりにも悪魔的すぎる  
……っ



ご満足頂けるまで  
好きおまんこ  
私のおまんこを  
お使いくださいっ♡



神はまだ勇者様に  
祝福を授かれと  
告げていると  
いうことですね♡

勇者様おちんぼ  
嬉しいっ♡

ちゅっ  
ちゅっ

はっ  
はっ

ちゅっ



今度は  
勇者様のおちんぼ  
ピストンでっ♡

はっ  
はっ

勇者様の聖なる  
種付け腔内射精で  
最高の「祝福」を  
迎えましょう♡

ちゅっ

ちゅっ



俺が茉莉花さんに返せるもの これぐらいしかないんで...

期待に沿えるよう頑張ります...!!



ゆうしやま まあっ♡







すき♡  
すき♡

ゆうしゅさま♡

この好意におそらく  
「祝福」という  
建前は介在しない



勇者様っ  
イってる  
間もっ♡

おちんぼで  
痙攣おまんこ  
受け止めて...♡

ずっと待ってた  
勇者様ちんぽっ♡  
卑しく子宮を  
押し付けて  
しまいます...♡



勇者とシスターの  
聖儀礼の一環ではなく  
男女の本能を  
満たすための性行為

おちんぼ  
まだおっきく  
.....♡



はっ♡  
はっ♡

カカリ♡  
カカリ♡



「肩書き」抜きで  
茉莉花さんが  
俺のことを好きだと  
思ってくれている…っ

んふい  
あ  
しよ  
おんほ  
すきな  
おんほ

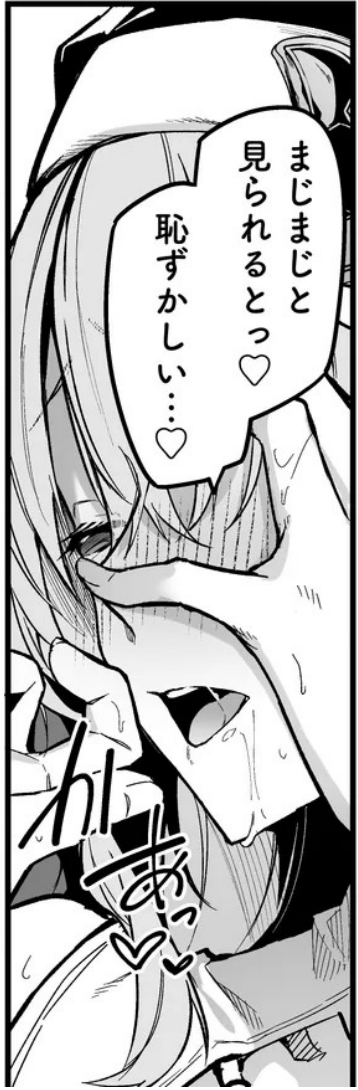
ははは

ははは



んふい

すいません  
そろそろ  
射精から—



まじまじと  
見られるとっ♡  
恥ずかしい…♡



大衆の為ではなく  
茉莉花さんの  
為なら

この先も  
生きていける  
気がする

ゆうしゃ  
さま









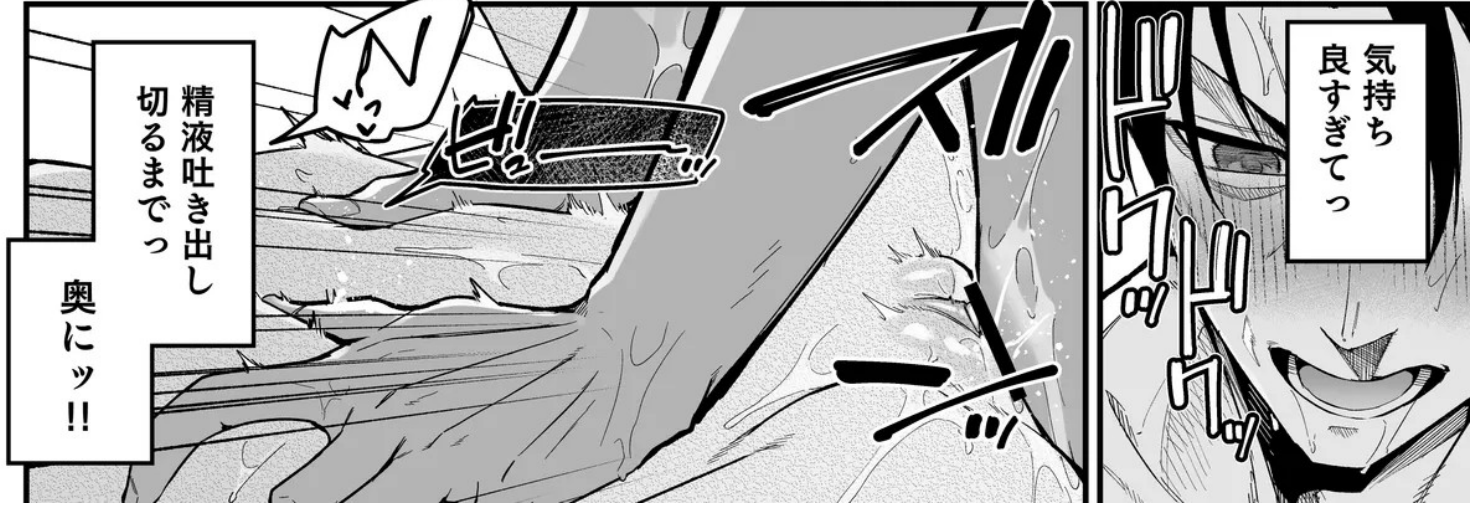


さつきよりっ♡  
なかで強く脈打ってっ♡  
射精でっ♡

ヒューン!!

シューン!!

シューン!!



気持ち  
良すぎてっ

精液吐き出し  
切るまでっ

奥にッ!!





この絶頂…  
この精液が  
勇者様から  
授かりし恩寵  
……♡

“祝福”♡

すいません  
シスターさんの大事な  
身体を乱暴に扱って  
しまして……

そんな……っ

勇者様の幸福こそが  
私の「祝福」ですので  
お気になさる必要など  
ありませんっ

どうかこれからも  
勇者様を導き  
勇者様の「祝福」を  
身に受けるお役目を  
与えてください

勇者様「専用」の  
シスターとして♡

……っ  
茉莉花さんっ

勇者  
様っ♡





申し訳  
ありませんっ!!

勇者様のための  
祝福だというのに  
自分の快樂本位の  
はしたない性交を…っ

シスターとして  
情けない…っ

いや

俺もすげー  
気持ち良かった  
ですから!

そんなガチ謝りされると  
昨日の好意すら無かった  
ように見えて悲しく  
なるんだが…!!



ではこれからは  
もっとレベルの高い  
モンスターにも挑戦して  
レベリング効率を  
高めましょう!!

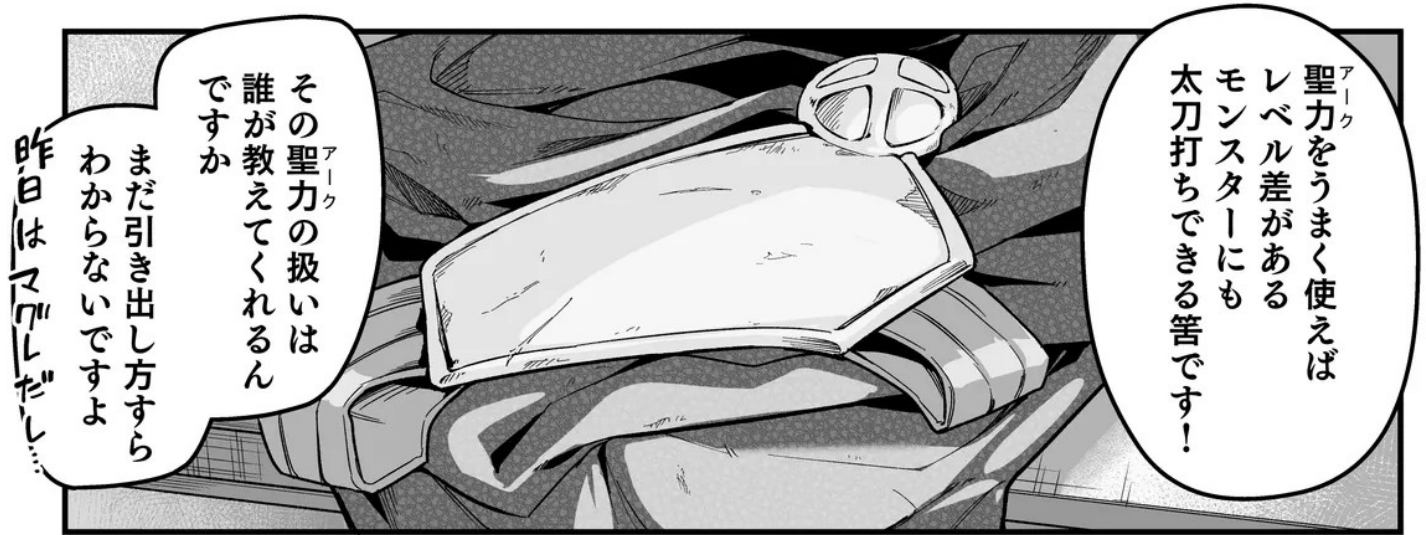
キヤ!  
!?



これからも  
茉莉花さんから  
あんな祝福を  
貰えるなら…  
まだ勇者って重荷を  
背負える自信はないけど  
もうちょっと頑張れると  
言いますか—



勇者様…



アーケ  
聖力をうまく使えば  
レベル差がある  
モンスターにも  
太刀打ちできる筈です！

アーケ  
その聖力の扱いは  
誰が教えてくれるん  
ですか

まだ引き出し方すら  
わからないですよ  
昨日はマゴレだし...



ちなみに  
今日は何と戦う  
予定なんすか

レベル10の  
熊です

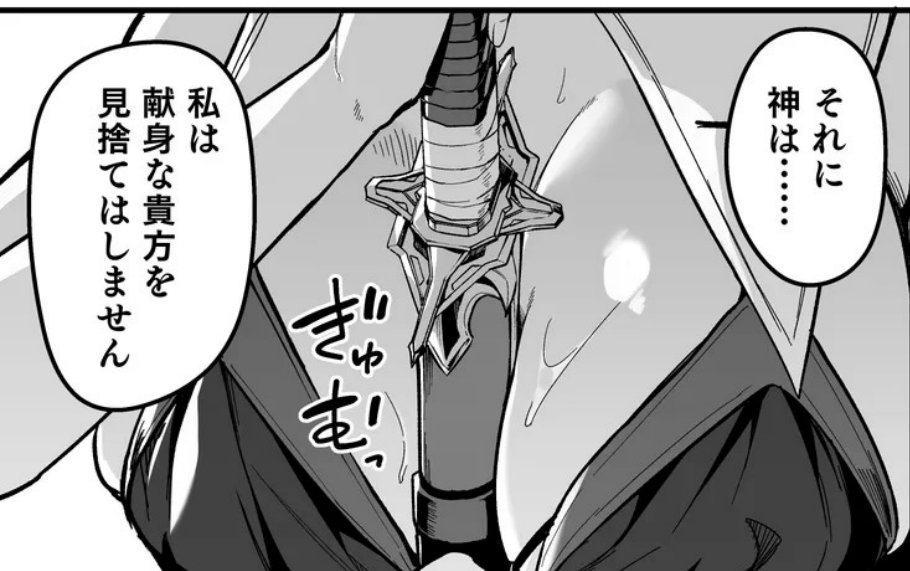
なるほど  
今日が命日かあ

い、いざという時は  
私がいまますので  
絶対に死なせません！！



アーケ  
聖力は  
勇者専用スキル  
なので……

気合で……



それに  
神は……

私は  
献身な貴方を  
見捨てはしません

きゅん

勇者様のレベリングは  
私の腔内射精祝福の恩寵と  
共にありますので  
頑張りましょう！

27歳の  
暫定勇者

うん...

私も...

勇者様の成長を  
心待ちにしています♡

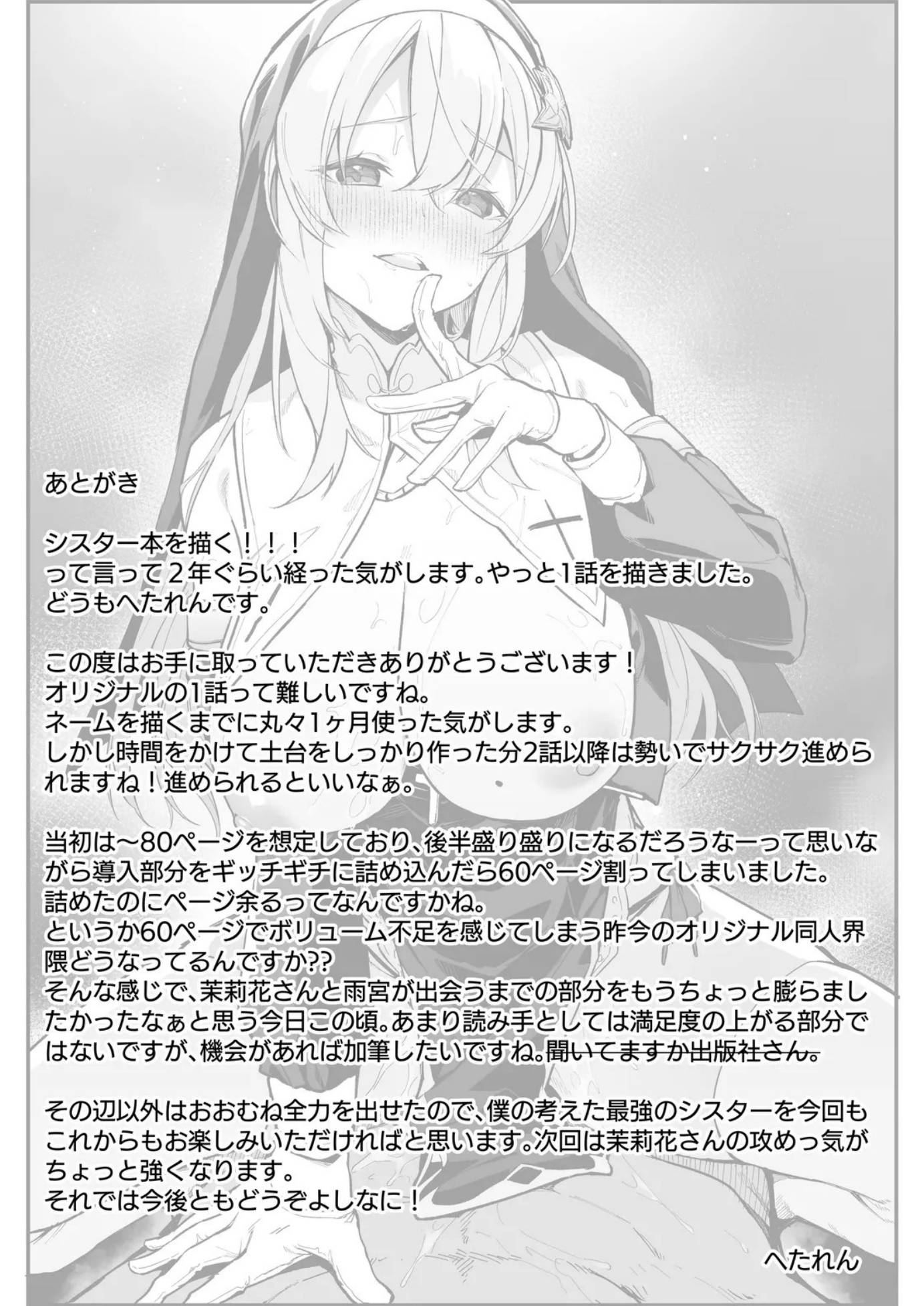
甘い餌で  
飼い慣らされ

モンスターに  
殺られるのが先か  
過酷な労働環境に  
身体が朽ちるのが先か

ドク...

あと何度の祝福を  
受けられて俺は  
死ぬのだろうか.....

▼to be continued



あとがき

シスター本を描く！！  
って言って2年ぐらい経った気がします。やっと1話を描きました。  
どうもへたれんです。

この度はお手に取っていただきありがとうございます！  
オリジナルの1話って難しいですね。  
ネームを描くまでに丸々1ヶ月使った気がします。  
しかし時間をかけて土台をしっかり作った分2話以降は勢いでサクサク進められますね！進められるといいなあ。

当初は～80ページを想定しており、後半盛り盛りになるだろうなーって思いながら導入部分をギッチギチに詰め込んだら60ページ割ってしまいました。  
詰めたのにページ余るってなんですかね。  
というか60ページでボリューム不足を感じてしまう昨今のオリジナル同人界限どうなってるんですか??  
そんな感じで、茉莉花さんと雨宮が出会うまでの部分をもうちょっと膨らましたかったなあと思う今日この頃。あまり読み手としては満足度の上がる部分ではないですが、機会があれば加筆したいですね。聞いてますか出版社さん。

その辺以外はおおむね全力を出せたので、僕の考えた最強のシスターを今回もこれからもお楽しみいただければと思います。次回は茉莉花さんの攻めっ気がちょっと強くなります。  
それでは今後ともどうぞよしなに！

へたれん

## ■タイトル■

勇者レベルアップでシスターから祝福を(デジタル版)

## ■サークル■

準特注くろますく

## ■連絡先■

○へたれん/伏木 蓮

twitter(X) : @hetaren88

mail : r.hetaren88@gmail.com

HP : <https://xfolio.jp/portfolio/hetaren88>

(ご依頼の際は、HPを一度ご確認くださいとうえでご連絡頂きますよう宜しくお願いします。)

specialthanks(アシスタント)

○うさおとめ

twitter(X) : @usa\_otome\_

○大塚

## ■発行日■

令和7年 7月26日

### 【注意】

- この漫画はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。
- この漫画の著作権は(準特注くろますく/へたれん)にあります。
- この漫画を著作権者の許可なくインターネット上にアップロードする行為は犯罪です。(著作権法23条) 10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます。
- 海外サーバーでも、日本の法律が適用される事例もあります。
- この漫画の内容の一部、あるいは全体を無断使用することは禁止です。

### [Warning]

- This manga (is a work of fiction. It is not related to any real people or organizations.
- The copyright of this manga belongs to (Juntokutyu Kuromask/Hetaren).
- Uploading this manga to the internet without the permission of the copyright holder is a crime (Copyright Act Article 23). Imprisonment of up to 10 years or a fine of up to 10 million yen, or both, may be imposed simultaneously.
- There are cases where Japanese law applies even to overseas servers.
- Using the contents of this manga, in whole or in part, without permission is prohibited.



準特選「黒マスク」

»»» JUN TOKUTYU KUROMASK «««